

戦略における基本方針の考え方について

○千代田区まちづくりウォークアブル戦略の基本方針について、現時点で想定する内容を以下に示す。

方針1

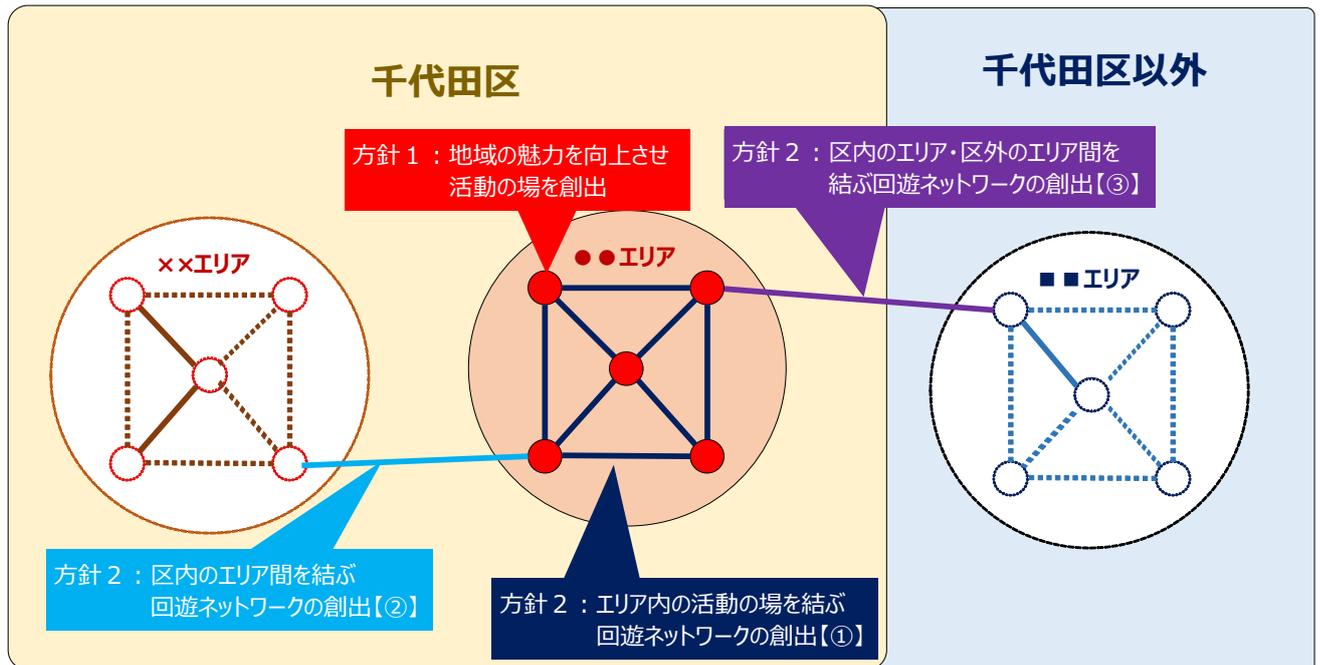
地域の資源の効果的な活用やまちのデザインにより、地域の魅力を向上させ、多様な人々の活動（出会い・交流）を創出すること

方針2

地域の魅力や多様な人々の活動をつなげることで、より一層の効果を創出すること

- ① エリア内の活動の場を結ぶ回遊ネットワークの創出
- ② 区内のエリア間を結ぶ回遊ネットワークの創出
- ③ 区内のエリア・区外のエリア間を結ぶ回遊ネットワークの創出

<方針1・方針2のイメージ>



方針3

各地域の特色にあった、その地域ならではのウォーカブルなまちづくりを展開すること

＜地域ならではのウォーカブルなまちづくりのイメージの一例＞

エリアの特徴		まちづくりのイメージの一例	
商業系 エリア	大規模 開発 エリア	<p>【平日】 公開空地と道路空間を一体的に活用することで、勤務者の休憩スペースを確保。 【休日】 公開空地を活用することで、定期的なイベントの実施。</p> <p>丸の内仲通り</p>  <p>出典：ストリートデザインガイドライン（国土交通省）</p>	<p>日比谷ステップ広場</p>  <p>出典：民間空地等の多様な利活用に関する事例集（国土交通省）</p>
	既存 市街地 エリア	<p>【平日】 河川空間を活用して、隣接する飲食店のスペース（オープンカフェ等）を設置。 【平日】 道路空間・河川空間を活用して、滞留スペースやアクティビティを誘発する場を設置。 【休日】 地域性が見られる景観のデザインの実現。</p> <p>土佐堀川（大阪市）</p>  <p>出典：北浜テラス HP（北浜水辺協議会）</p>	<p>法善寺横丁（大阪市）</p>  <p>出典：建築協定活用事例（国土交通省）</p>
住宅系エリア	<p>【平日】 勤務者・居住者のための飲食の場として、キッチンカーを道路空間に設置 【平日】 主要な目的施設（公園、公共施設等）までに安全にアクセスできるように、自動車の速度・通行を規制。 【休日】 道路で子どもが遊んだりできるように、自動車の通行を規制。 【休日】 居住者を対象としたコミュニティ創出、活性化につながるスペースの設置。</p>		
	<p>日和山小学校地区（新潟市）</p>  <p>出典：生活道路対策エリアの取組（国土交通省）</p>	<p>わいわい!!コンテナ2（佐賀市）</p>  <p>出典：わいわい!!コンテナ 2HP（佐賀市街なか再生会議）</p>	

方針4

官民が一体となって、共通の目標に向かってチャレンジしていくこと

- 区民等： 地域の目標を実現するために、地域の資源を使い倒す取組にチャレンジ
行政： 地域の目標を実現するために、地域の資源を柔軟かつ容易に利用できるように、制度活用・新制度策定等にチャレンジ

議論の論点

○上記方針において、追加すべき視点